

代表質問



橋本 恒夫 議員

高島新政クラブ 海東市政4年目の 「環の郷たかしま」 の施策を問う

海東市政4年目となる平成20年度
施政方針を踏まえ、以下の項目につ
いて質問する。

- ① 市長のローカルマニフェストの
中で次の項目の見解を伺う
- ② 新庁舎建設プロジェクトについて
- ③ 市民あげてのごみ減量大作戦につ
いて
- ④ NPOによる移送サービスにつ
いて
- ⑤ 生ごみの堆肥化事業について

答 市長

① 「新庁舎建設」は、病院建替と並
ぶ重要プロジェクトですが、同時に
2大事業を進めることは財政的に至
難で、より市民の関心が高い病院に
軸足を置いています。合併の大切な
約束事ですので、調査、検討を進め
つつ、病院の目処が立った段階で具
体的推進をはかります。

② 「ごみ減量」については、「排出
ごみ20%削減」の目標を掲げていま
すが、16年度との比較では約3・6

%の削減に
留まってい
ます。これ
は家庭系ご
みが様々の
取組みによ
り削減する
一方で、生
産拡大に伴い事業系ご
みが増えているため
です。今後は事業系ご
みの資源化促進の啓発や
要請を進めます。

③ 構造改革特区により
「NPO等による移送
サービス」の展開を模
索していましたが、18
年度より特区認定を受
けなくとも可能となり、
バス路線の補完の面か
らも推進します。

④ 「生ごみ堆肥化」に
ついては、バイオマス
事業なども含め最適な
処理方法を、民設民営
も視野に検討していま
す。

問 海東市政4年目の 目玉政策を伺う

答 市長

はしっかりとした理念
を持ち指導に当たらな
ければならない。教育
委員会はそのように各
指導者に指導力向上の
ための指導を行ってい
るか。

たかしま21
市のほほほほ
子どもの育成と教育

井花 定樹 議員

問

① 家庭教育・地域社会
の教育力について

青少年の事件を、毎
日マスコミが報じてい
る。いろいろな調査機
関の調査結果では「家
庭教育の低下」を大き
な理由の一つとして掲
げている。教育委員会
として「地域の教育力」
を活用した「家庭教育」
をどのように考え、指
導されようとしている
か。

問

② 学校教育と社会教育
の連携について

教育委員会では、学
校教育、社会教育と各
課で頑張っておられる。
しかし連携した教育、
育成の形が見えない。
今後、両課が連携した
施策はどのように考え、

問

③ 福祉と教育の連携に
ついて

子育てをしている親
の環境等、問題が多く
なっている現代社会だ
が、関係機関の一つで
ある民生・児童委員の
方々の活動が重要になっ
てきていると考える。
教育委員会との
関係を考えたとき、ど
のような連携体制を考
えているか。

問

④ 休日・放課後
等の青少年指
導について

社会の急激な
変化は、子ども
の育つ環境も大
きく変えている。
だからこそ、各
種団体の指導者



びわ湖交付税の財
源を活用し「教育に
特化した高島市」を
推進します

※マイスクール事業・
ブックススタート事業等
教育に重点を置いた各
種の事業を実施すると
ともに、限界集落対策
や安曇川駅エレベーター
設置・公立高島総合病
院整備の基本設計に着
手します。

問 企業誘致の現状と 今後の取り組みを伺う

答 市長

企業誘致に向け積
極的な活動を展開し
ます

現在、県との連携に
より、市内の土地を紹
介するなど誘致に向け
た取り組みを展開して
います。今後とも、さ
らに連携を深め積極的
な誘致活動を展開して
まいります。

問 R161号線バイ

答 市長

島子ども宿」事
業などにより、地
域全体による子育
て体制づくりに努
めてまいります。

② 中学校と育成会
議の連携による
「中学生広場」は、
地域の方々の中学
生理解に繋がりに
ました。またマキノ西小
では、地域団体等の協
力で環境学習が深まっ
ています。今後一層、
学社連携・融合の体制
整備を進めてまいりま
す。

問 教委等と連携、協 調しながら、日常的 な支援に努めていた だいています

答 市長

③ 児童や家庭の環境、
生活状況など情報の共
有や援助方針に対する
共通理解を会議などを
通じて深めています。
民生委員児童委員さん
には、それらの理解の
上になら、日常の見
守りや継続して訪問を

バス安曇川工区の早期
着工を問う

答 市長

国道161号は、活
力あるまちづくりや地
域住民の生活、産業活
動になくてはならない
重要な路線であると認
識しています。安曇川
地先の工事についても、
早期に工事着手を望む
ものであります。

問 市活性化対策と若 者の定住対策を問う

答 市長

「若者定住促進プロ
ジェクト」を推進し
ます

教育や子育て環境の
充実を図るとともに、
市内事業者等の協力を
得ながら「若者就職フ
ェア」を開催します。
また、就労の場の確
保に向けた企業誘致や
居住支援策の検討を進
めます。

問 米価下落や災害に

答 市長

環境にこだわった栽
培技術による米づくり
の推進と、良質な有機
質肥料を耕種農家に提
供するシステムづくり
を行います。認定農家
等の経営支援のあり方
について、関係機関の
意見等もお聞きしてい
きたいと思っております。

よる経営危機農家への
対策を問う

答 市長

判断されているが、
片や20年度予算案
説明書では、景気の
低迷と判断されてい
る。矛盾した判断で
ないかと思うが、市
内の景気をどのよう
に判断しているのか。

問 食糧自給率向上対 策を問う

答 市長

肉や乳製品などの海
外からの輸入食品に頼
る食生活から、「ご飯を
中心とした食生活への
移行を図るための啓発・
指導を行い、米の消費
量や、副食である国内
野菜の生産を高めてい
きます。

問 高島病院の経営改善 策を問う

答 市長



行うなどの支援に努め
ていただいています。

問 景気判断と実体経済 が乖離することがあり、 実態に近い高島として の表現が必要だったと 思っています。本市に おける経済対策として は、小口簡易資金の資 金量の増額を行ってお ります。また地元企業 の設備投資や雇用に対 する支援などの政策を 新年度に実行したいと 考えております。

問 財政難の中の、 まちづくりについて 20年度施政方針を問 いて

答 市長

① 施政方針の中では、
景気の底堅い回復と

※マイスクール事業……市内各小中学校で独自性を生かした自然体験活動
などに取り組む学校の「顔」づくり事業

※ブックススタート事業……乳幼児および保護者を対象に絵本をプレゼント
し絵本を活用した子育て支援を推進する事業